

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	事業所対応・状況・工夫
環境・ 体制 整備	①	こどもの活動に対して適切なスペースが確保されているか？	69%	23%	8%	事業所の建て直しにより移転が続いたこともあり、保護者様に事業所の案内や見学会などを開催することができなかった為、今後面談時に事業所の見学を行えばと思います。
	②	こどもに対して職員の配置数や専門性は適切であるか？	92%	8%		人員配置として児童指導員を2名常勤として配置し、加配職員で保育士を配置しております。運動系や知識系など様々な分野の指導員を配置しております。
	③	事業所は、バリアフリー化や事業所の特徴から子どもに配慮がされているか？	46%	46%	8%	新旧事業所共に階段があり、新しい事業所では3階までありますがエレベーターはなく、バリアフリー化はできておりません。階段には手すりや滑り止めを設置しておりますが、階段での移動の場合はスタッフを必ず配置し、安全確認を行っております。
適切な 支援の 提供	④	個別支援計画書は、適切に作成されているか？	100%			1年に2回は保護者様と必ず面談を行います。保護者様からご自宅や学校、他の事業所での様子を踏まえ話し合いを行い、個別支援目標を決めそれに基づき支援をします。
	⑤	活動プログラムは、個々に合わせて適切に提供されているか？	92%	8%		個々に合わせてプログラムの内容を変更したり、スタッフがマンツーマンで対応しながらプログラムを行っています。また、児童によって興味の波があるため、今後もみんながどのプログラムにも参加できるように工夫をしていきたいと思っています。
	⑥	交流会や経験等、社会性が身に付く活動機会がなされているか？	100%			プログラムや友達、スタッフとの関わりを通して社会性を身につける活動を続けていきます。
保護者 への 説明等	⑦	面談時に支援の内容、評価等について丁寧な説明がなされたか？	100%			面談を行う際に半年間の児童の様子を支援目標の達成度をもとに、達成・未達成の原因分析を伝え、今後の支援に繋げる報告をさせて頂いております。
	⑧	日頃より子どもの様子を保護者と伝え合い、発達状況や課題について共通理解ができてきているか？	100%			利用の様子は連絡帳や送迎時に直接保護者様に伝え情報共有は常に行っております。
	⑨	保護者に対して育児に関する事や悩み事への助言等の支援が行われているか？	100%			日々の報告は上記同様連絡帳や送迎時に直接報告を行い、他にもその都度、電話や面談を行い保護者様の悩みに親身に対応できるように心掛けております。
	⑩	学校や他事業所、関係機関等と連携して支援されているか？	62%	38%		送迎時に学校の先生や他事業所のスタッフと個人情報には十分注意しながら連携を行っております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応しているか？	85%	15%		苦情には真摯に迅速かつ適切に対応しております。苦情の内容は全職員に情報共有し、対策を徹底させております。
	⑫	活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信しているか？	85%	15%		活動内容や予定は事前に次月のプログラム表を配布しております。外出の内容に関してはマチコミやメールなどで情報漏れが無いように心掛けております。
	⑬	個人情報に十分注意しているか？	100%			利用者様の情報は、事業所で厳重に保管しております。
非常時 等の 対応	⑭	緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知されているか？	85%	15%		緊急時・防犯・感染症マニュアルを作成し、事業所で掲示してあります。コロナウイルスも終息しておりませんので、今後もより一層保護者様にも周知していただけるように取り組んでいきたいと思っています。
	⑮	非常事態に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか？	85%	15%		年に2回(火災・地震)を想定した避難訓練を全利用者を対象に実施しております。事業所が新しくなった為、利用者にも新たな避難経路などをわかりやすく理解できるように取り組んでいきたいと思っています。また、防犯センターの見学や非常食の実食など常に災害に備えられるように心掛けております。
	⑯	災害や事故等の非常事態が発生した場合、適切に対応することができているか？	62%	38%		
	⑰	利用時に安全対策は、十分にされているか？	62%	38%		③記載同様3階まで階段があるため、移動の際は常にスタッフが付き安全に事業所で過ごせるよう心掛けています。また事業所の外は車道もあり車に乗車の際はスタッフが声を掛けを行い注意喚起を行っております。
満足度	⑱	子どもは通所を楽しみにしているか？	77%	23%		今回のアンケートも多くの皆様から通所を毎回楽しみにしている、満足に通所して頂いていると意見を頂くことができました。今後も面談や日々の情報共有から利用者様の悩みや不安など成長に繋がられるサポートに尽力していきたいと思っています。またプログラムには皆様の意見を取り入れながら工夫し、充実した支援を行って行きます。
	⑲	事業所の支援に満足しているか？	100%			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%		一時的に短期間の仮店舗への移転があり、指導訓練室としてスペースは取れていたものの、部屋を分けられない状況があったが、スタッフで状況に合わせて簡易的に分ける工夫をしていた。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			人員基準を満たした上で、加配加算の人員を確保しながら、日々研修を行い、スキルアップ向上に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25%	75%		仮店舗への移転後も事業所は2階にある為、車椅子の受け入れはできません。活動スペースは段差や障害物もなく、利用状況に合わせて部屋を工夫しながら活用しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	30%	60%	10%	利用者状況の事前ミーティングと反省を行っております。様子や改善点を記録し、定期的にミーティングで情報共有を行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	85%	15%		年に一度アンケートを実施し、満足度や改善点、要望などの聞き取りを行っております。すべてを反映できるわけではございませんが、アンケートを踏まえ、支援方法やプログラムに反映しております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	70%	15%	15%	毎年3月に実施し、5月までに前年度の自己評価を事業所のHPIにて公表しています。会報に個人情報に関する箇所もありますので、毎月利用者の方々にその月の利用状況を含めた会報を配っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20%	30%	50%	第三者による外部評価は実施しておりません。今後法人として行うことがあれば検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	25%		事業所の研修は年間スケジュールを通して、定期的に行っております。従業員のスキルアップ向上を図るために外部研修に参加する機会を設けております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			毎回利用者状況や支援内容を援助記録書に記録しています。利用者のニーズと援助記録書を総合的に判断し、様々なスタッフと意見交換をしながら支援の方針を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	30%	20%	利用者の状況や特性がわかりやすく記せるよう、独自のアセスメントツールを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%		プログラム毎に担当を決め、中心に立案をし、内容をミーティングを通して全スタッフに周知を行い、月毎に計画的にプログラムを実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			プログラムは、利用者のニーズに合わせて立案しています。利用回数が多く、同じプログラムを複数利用する方は内容の変更を行います。マンネリ化を避けるために、年度毎にプログラムの内容は変更致します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			長期休みには、個別課題を保護者と確認し、毎回取り組める時間を平日の利用より多く取っています。進捗状況によって、新たな課題を追加や設定を見直すこともあります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			平日、学校休業日共に毎日プログラムを用意しています。個別活動は、時間や利用者状況によって、本人のペースで取り組んでいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			平日、学校休業日共に利用者が来所前に必ず事前打ち合わせを行い、プログラムの流れや利用者状況、引き継ぎ事項などを確認していきます。送迎などで参加できないスタッフには事前に連絡事項を伝えています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			児童の送迎後必ず反省会を行っております。様々な意見交換を行い、利用者の状況を日誌に記録し、振り返りを通して、次回への対応や対策を立てていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証・改善につなげているか	100%			利用者の変化や様子等を援助記録書に記録し、情報は事前にミーティングや反省会で共有しています。気になる点は、保護者や関係機関等と相談・連携等を行っております。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			事前に保護者に質問票を記入してもらい、学校・家庭等での様子から個別支援計画書を立案しています。作成前に支援会議を行い、従業員と情報共有し、課題や目標設定しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	70%	15%	15%	個別支援では宿題や個別課題を行い、様々なプログラムを一年を通して成長するプログラムを提供しています。プログラムの内容は要望や利用者状況を考え、立案していきます。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	85%	15%		児発管又は管理者を中心に関わっているスタッフが全員参加できる日程を調整し、会議を行っております。参加できなかったスタッフには後日会議内容を伝えております。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			学校との情報共有は適切に行い、送迎の時間変更がある場合は、随時学校と確認の連絡を取り合っています。また、児童によっては保護者を交えたカンファレンスも行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10%	60%	30%	現在該当する方はおりませんが、てんかん等をお持ちの利用者の担当医や対応マニュアルは保護者と相談してスタッフと情報共有しております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	33%	33%	33%	利用前に面談を行い、就学前の情報を頂いております。必要に応じて関係機関の支援者とカンファレンスを行うこともあります。また、実際の利用が始まる前に体験など利用も行っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	33%	33%	33%	現在年齢的に卒業生がまだ出ておりませんが、今後放課後等デイサービス卒業後に障害福祉サービス等に円滑に移行できるよう関係機関と連携を取っていかと考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	85%		15%	定期的に外部研修として専門性の高い研修に参加しています。利用者の状況に応じて、研修や助言を頂けるよう専門機関と連携しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	33%	33%	33%	新型コロナウイルス流行に伴い、保育園交流、デイサービスとの交流は一時停止しております。今後は再開を検討しております。また、外出では公共施設等を一般の利用者と同じように利用しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	60%	30%	10%	地域での研修や協議会には参加しています。特に神奈川区の放課後等デイサービスの連絡会には積極的に参加し、学ぶだけではなく他事業所と繋がりを築いています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			保護者とは、連絡帳で様子や支援内容を報告しています。重大な出来事は直接お話やお電話をしています。小さな出来事にも共通理解になるように心掛けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	70%	15%	15%	保護者には、接し方や対応方法などアドバイスをしています。必要に応じて面談時期以外にも保護者との面談を行い、状況の確認や対策などを共に考える機会を作っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に丁寧に説明するよう心掛けています。利用負担に関しては、変更があることもございますので、その際は保護者の方に説明をしています。また、利用についての変更を求める場合は事前アンケートを取り、意見を参考にしながら書面でお知らせをします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			学校や家庭の様子や困っていることを聞き取り、半年に1度は必ず面談を行っています。要望や利用児童の状況によっては面談時期以外にも相談を受けれる機会を常に作っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15%	70%	15%	保護者会は行っておりません。保護者会等の要望が多くなりましたら開催します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情や事故に対しては窓口を設置しております。発生時にはマニュアルに沿って速やかに真摯に対応します。重大な苦情や事故は書面で全利用者に周知します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			月に一度ひまわりキッズα通信として日頃の様子を配布しております。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			保護者には契約時に個人情報の使用同意書、従業員には個人情報の誓約書を交わしています。個人情報は支援会議のみ使用させて頂きます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			利用者の障害特性に合わせて伝達手段を変えています。ホワイトボードや絵カード、サインなど伝達しやすいように創意工夫をしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	70%	15%	15%	現在、地域住民と関わる機会は主催しておりませんが、お祭りや学園祭など地域行事に参加しています。今後も地域行事には積極的に参加していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	85%	15%		各マニュアルは、研修を通して確認しております。変更等発生した場合は最新版を周知できるようにします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			年に2回、全利用者が参加できるように、地震・火事を想定した避難訓練等を行っています。非常事態に備えて非常食を体験してもらう機会も作っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止については、年間研修で全職員が参加しています。日頃より利用者の様子、身体状況の確認をし、虐待の早期発見に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			現在、身体拘束を伴う事例はありません。保護者・事業所が双方で身体拘束が必要と判断した場合は、事前に面談し、個別支援計画を作成・同意を得た上で実施します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	85%	15%		契約時にアレルギーの確認をしています。アレルギーがある方は、医師からの指示書を作成し、それに沿って食事提供をします。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			反省会でヒヤリハットの情報共有をし、今後の対策を話し合っています。研修を通して様々な事例より対応方法を身に付けていきます。	